

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2022-2007	利用形態	内部研究			
研究題目	出生コホート連携に基づく胎児期から乳幼児期の環境と母児の予後との関連に関する研究(ゲノム解析研究)			研究期間	2022年11月～2024年3月	
代表研究機関	東北メディカル・メガバンク機構		責任者 氏名・所属・職	栗山 進一	東北メディカル・メガバン ク機構	教授
分担研究機関	-		責任者 氏名・所属・職	-	-	-
研究目的と意義	<p>国立研究開発法人日本医療研究開発機構成育疾患克服等総合研究事業「出生コホート連携に基づく胎児期から乳幼児期の環境と母児の予後との関連に関する研究」(研究代表者__東北大学栗山進一教授)で見出された喫煙と妊娠高血圧症候群(HDP)との関連について、遺伝的要因が関係するか調べます。これまで、海外では喫煙がHDPのリスクではない可能性が報告されていましたが、日本の妊婦さんでは、喫煙とHDPとの間に関連が認められ、民族によって違いがあると推測されます。</p>					
研究計画概要	<p>東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査において既に収集済みの情報を用いて解析します。ゲノム情報については、インピュテーション済みの情報を用います。ゲノム解析により、喫煙とHDPとの関連について遺伝的要因を検討します。また、東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査でのデータと他機関でのデータの統合解析を予定しています。</p>					
利用試料・情報	<p>対象:三世代コホート調査参加者のうち、母親約22,000人 試料:なし 対象:基本情報、続柄情報、調査票情報、母子健康手帳情報、検体検査情報、生理機能検査情報、カルテ転記情報、ゲノム情報(SNPアレイ)</p>					
期待される成果	<p>本研究で日本人独自の喫煙のリスクについて遺伝的要因を明らかにすることができれば、HDPの予防に役立てられると考えます。</p>					
倫理審査等の経過	2022年11月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認					
倫理面、セキュリ ティー面の配慮	<p>人を対象とする生命科学・医学系研究の倫理指針のほか、別途締結する研究契約を遵守して研究を遂行します。 試料・情報は、高度なセキュリティが担保されたToMMoスーパーコンピュータ内(遠隔セキュリティエリアを含む)で、許可された研究者のみがアクセスできる環境で利用します。</p>					
その他特記事項	受託研究費(AMED 成育疾患克服等総合研究事業)					
	※公開日 令和4年12月7日					